



古中だより「坂道」

くめざす生徒像>

- (知) 自ら学ぶ生徒
- (徳) 礼儀正しく思いやりのある生徒
- (体) 心身ともに健康な生徒

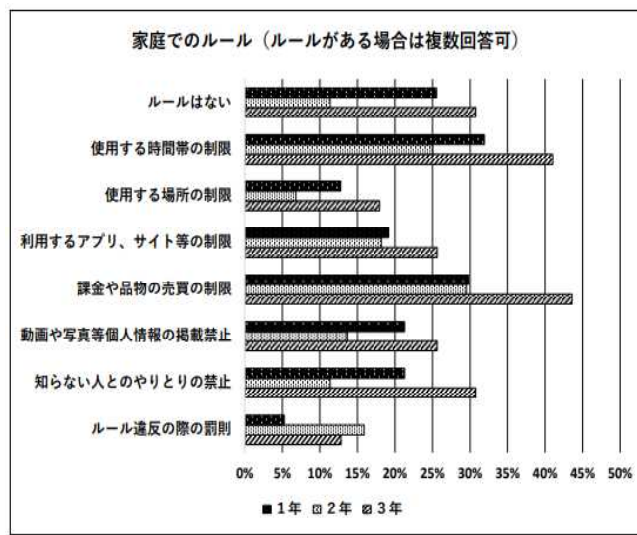
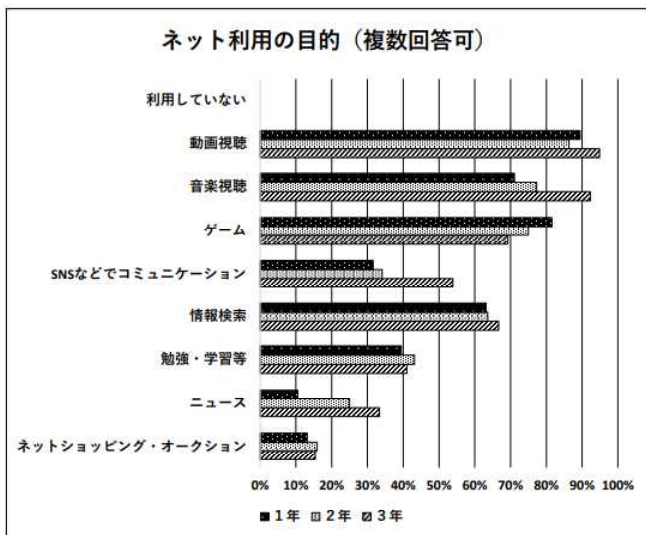
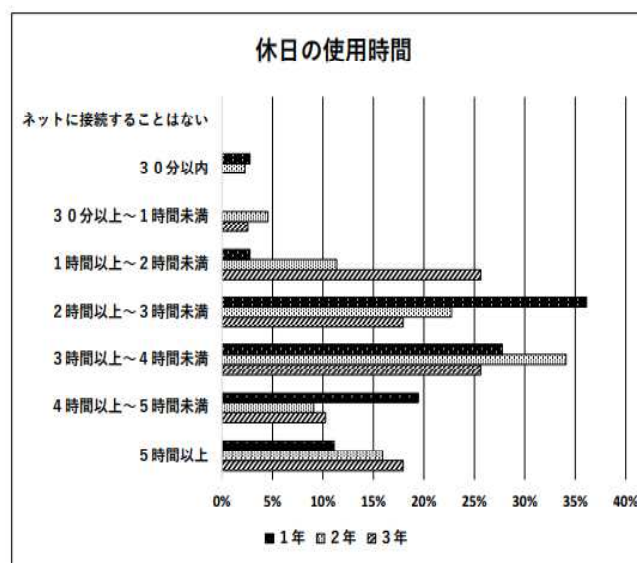
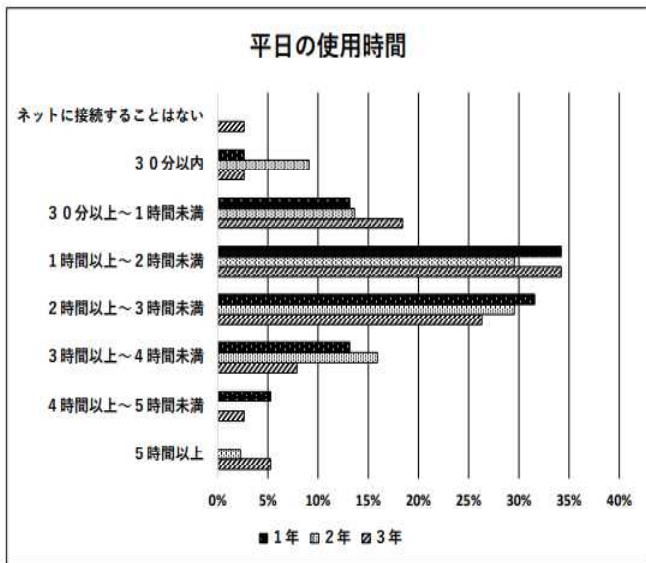
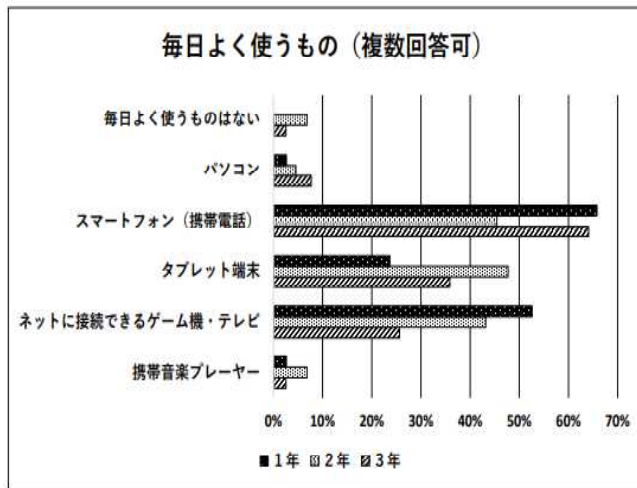
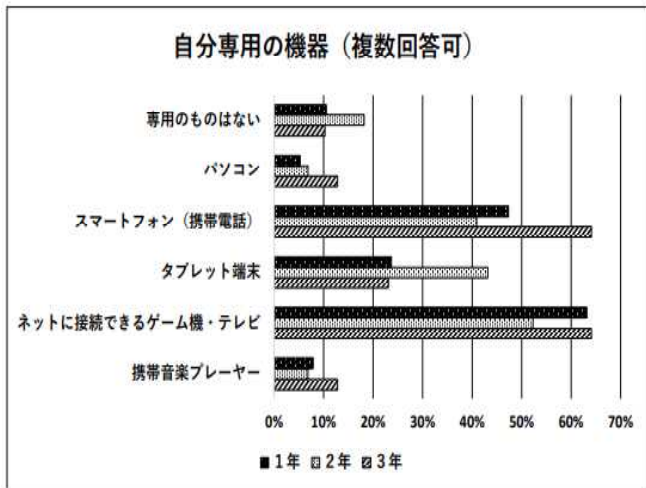
令和4年度 第9号

7月4日 発行

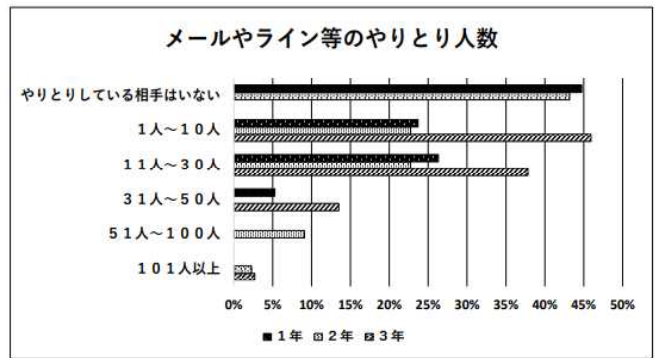
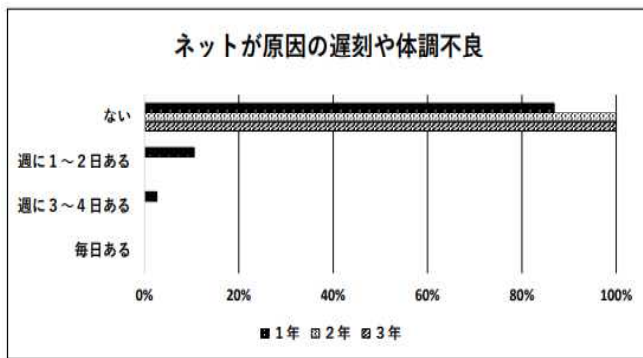
古殿町立古殿中学校
校長 上野 康生

～ 情報端末利用に関するアンケート調査から ～

先日、全校生を対象に情報端末（スマートフォン・携帯ゲーム機等）の利用状況アンケート調査を実施しました。結果は以下のとおりです。



裏面へ続きます



情報化が進む社会の中で、情報端末の利用場面は今後ますます増えていくことが考えられます。一方で、**小・中学生による過度の利用や不適切な利用によって生活習慣が乱れたり、ネットいじめや犯罪行為の加害者や被害者になったりすることが大きな社会問題の一つ**となっていることも事実です。



本校のアンケート調査からも、次のような実態や課題が見えます。

□【自分専用の機器】

スマートフォンの所持率は、昨年度と比べて学校全体で**10%程度高く50%弱**となっています。特に1、3年生の所持率が高い傾向があります。また、**タブレット端末やインターネットに接続できるゲーム機・テレビの所持率も昨年度と比べて総じて高くなっており、過度の利用につながる**ことが懸念されます。

□【利用時間】

1日の利用時間が3時間を超える生徒が平日では約17%（6人に1人）、休日では50%強に達しています。中には**5時間を超える生徒**も見られ、「**ネット依存**」、「**ゲーム依存**」の傾向があるのではないかと心配しています。また、1年生で「**ネットが原因の体調不良がある**」と答えた生徒が**14%**もいるなど、ネットを長時間利用している生徒は**睡眠不足や体調不良で授業等に臨んでいるのではないかと**思われます。**学力向上の点からも大きな問題**であると考えます。

□【利用目的】

利用の目的は主に動画や音楽の視聴、ゲームということで昨年度とほぼ同様の結果となっています。そのような中で、**約14%（7人に1人）の生徒がネットショッピング・オークションに利用**しています。**金銭の管理等、保護者の皆様が実態を十分に把握**できているでしょうか。

□【家庭のルール】

ネット利用に関して**家庭のルールはないと答えている生徒の割合が約23%（およそ4人に1人）**となっており、昨年度と比べ5%程度低くなっています。**ルールづくりに取り組んでいるご家庭が増えていることは大変ありがたいこと**です。一方、1、3年生ではルールがないと答えている生徒の割合が高くなっています。**生徒が自分自身で使用時間をコントロールしたり善悪の判断をしたりして利用することが理想ですが、中学生という発達段階を考えると容易なことではない**と考えます。**規則正しい生活を送る上で、家庭でのルールづくりは極めて重要なこと**です。ぜひ、**家庭でのルールづくりやルールの見直しにご協力**ください。

□【やりとりの相手】

複数の人とメールやラインのやりとりをしている生徒が見られます。よく知っている間柄ならそれほど大きな心配はありませんが、**見たことも話したこともない人とのネット上だけのやりとりは犯罪に巻き込まれるなどの危険**が伴います。**やりとりの相手について、保護者の皆様が把握**しておくことは大切であると考えます。

情報端末の適切な利用については、先日実施しました「防犯教室」をはじめ、学校教育の様々な機会を通して生徒に指導しており、8日（金）に行われる学年懇談会の折にも各学年で話題にしたいと考えております。保護者の皆様もお子さんに適宜ご指導いただいていると思いますが、**主な利用の場はご家庭**ですので、**保護者の皆様の責任ある管理・指導が必要不可欠**です。ぜひ、この機会にご家庭でも話題にさせていただきたいと思っております。そして、**時間的なゆとりが出る夏休みに、生徒が「ネット依存」、「ゲーム依存」の生活にならないよう学校と家庭が連携して指導に当たっていきたく**と思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、スマートフォンについては原則として学校への持ち込みは禁止しています。どうしても持たせなければならない理由がある場合には学級担任に申し出てください。

～ 他校の実践に学ぶ！ ～

6月28日(火)、玉川中学校を会場として、**石川地区中学校生徒会交歓会**が実施され、本校からは**加藤魁人会長(3年)**と**矢内漣副会長(2年)**が参加しました。会では、「よりよい集団を築くための生徒会活動」のテーマのもと、各校の取組の紹介やグループ討議等が行われました。グループ討議では加藤会長も矢内副会長も積極的に**他校の生徒に質問をしたり情報を交換したりして、自校の実践に生かそうとする姿**が見られ、素晴らしいと思いました。そして、最後に今後実践したいこととして、古中からは「**コミュニケーション能力を高めるための生徒の交流の場を設けたい**」、「**全校集会でいじめ防止を呼びかけたい**」、「**全校生の意見を聞くためのアンケートを実施したい**」という3点の発表がありました。

今後、ますます生徒会活動が活発になるとともに、**生徒一人一人が生徒会の一員であるという自覚をもって、自分の役割を積極的に果たしてほしい**と思います。



情報交換をする加藤会長



発表する矢内副会長

～ 東日本大震災・原子力災害を風化させないために ～

6月30日(木)、**2年生が学習旅行**に行ってきました。今回の目的地の目玉は、双葉町にある**東日本大震災・原子力災害伝承館**です。学習旅行の前日の結団式において、東日本大震災の記憶を少しでも覚えている生徒がいるかどうか尋ねたみるところ、10名ほどが覚えていました。生徒は当時2歳だったので、無理ありません。

しかし、**今年3月には東日本大震災を思い出させるような強烈な地震が発生**しました。改めて、防災意識を高める必要性を感じました。また、原子力災害により**現在も3万人以上の方々**が避難生活を余儀なくされています。福島県民として、このような状況を正しく理解することはとても大切なことだと考えています。

そのような中で、今回、伝承館を訪れた2年生は語り部さんの話や施設の見学を通して、多くのことを学び、感じてきたことと思います。猛暑の1日ではありましたが、帰ってきた**生徒の多くから「楽しかったです」という声を聞くことができました**。中学校生活の良い思い出の一つにしてほしいと思います。

